



2024年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月8日
上場取引所 東

上場会社名 大幸薬品株式会社
コード番号 4574 URL <https://www.seirogan.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柴田 高
問合せ先責任者 (役職名) コーポレート本部 経理部長 (氏名) 中條 亨 MAIL ir@seirogan.co.jp
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第3四半期の連結業績（2024年1月1日～2024年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第3四半期	4,579	3.7	726	—	705	—	714	—
2023年12月期第3四半期	4,417	30.3	△444	—	△589	—	△562	—

(注) 包括利益 2024年12月期第3四半期 1,247百万円 (—%) 2023年12月期第3四半期 △318百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第3四半期	14.24	—
2023年12月期第3四半期	△12.09	—

(注) 1. 2023年12月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。
2. 2024年12月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第3四半期	13,137	8,064	61.4
2023年12月期	13,220	6,739	51.0

(参考) 自己資本 2024年12月期第3四半期 8,064百万円 2023年12月期 6,739百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年12月期	—	0.00	—	—	—
2024年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
2. 2024年12月期の配当予想につきましては、現時点では「未定」といたします。

3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,800	11.1	550	—	590	—	550	—	10.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年12月期3Q	50,636,900株	2023年12月期	50,436,900株
② 期末自己株式数	2024年12月期3Q	443,189株	2023年12月期	487,124株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年12月期3Q	50,179,168株	2023年12月期3Q	46,530,865株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料はT D n e t で同日開示するとともに、当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の分類移行にともなう社会経済活動の正常化、雇用・所得環境の改善を背景に、国内景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、継続的な物価の上昇による消費の減速懸念等、依然として景気の見通しは不透明な状況が続いております。

このような中、当社グループは医薬品事業において、市場への安定供給という課題に対し、供給体制を強化するため、製造人員の増強やシフト生産体制の構築、京都工場の医薬品ラインの立ち上げ等に取り組んでまいりました。また、感染管理事業では二酸化塩素のエビデンス強化に係る研究開発を通じた消費者の皆様への信頼醸成や、売上規模に応じたコスト管理等収益性の改善施策に取り組んでまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高につきましては、医薬品事業の増収により、対前年同期比3.7%増の4,579百万円となりました。売上総利益につきましては、医薬品事業の増収影響等により、対前年同期比51.6%増の2,715百万円となりました。

販売費及び一般管理費につきましては、継続的なコスト削減施策の実行等により、対前年同期比11.0%減の1,988百万円となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の営業利益は726百万円（前年同期は444百万円の営業損失）、経常利益は705百万円（前年同期は589百万円の経常損失）となりました。特別利益につきましては、医薬品事業の仕入取引に関連し、取引先より受領した受取補償金200百万円を計上しております。特別損失につきましては、医薬品事業における生産体制の再編に関連し、減損損失228百万円を計上しております。その結果、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては714百万円（前年同期は562百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメント別の経営成績につきましては以下のとおりであります。

(医薬品事業)

医薬品事業につきましては、国内市場における市場規模が対前年同期比で109.1%となり新型コロナウイルス感染症の影響から回復し、コロナ前の水準を上回ってきております。堅調な需要に対し、前連結会計年度より引き続き、製造人員の増強やシフト生産体制の構築、京都工場の医薬品ラインの立ち上げ等の増産施策の取り組みを進めてまいりました。これらの取り組みにより、供給課題は徐々に解消に向かいつつあるものの、一部製品においては依然として、十分な供給ができておらず品薄の状況が継続しております。また、原材料及び資材費や物流費等の価格高騰を背景に、国内において「正露丸」、「セイロガン糖衣A」の出荷価格の値上げを実施いたしました。

この結果、国内向け医薬品売上高につきましては、対前年同期比7.4%増の2,640百万円となりました。また、海外向けにつきましては、前連結会計年度において国内向けとの出荷調整によって十分な供給量を確保することができずでしたが、中国・香港市場へ一部の出荷を再開できたこと等から、対前年同期比26.2%増の1,551百万円となりました。

これらの結果、医薬品事業につきましては、対前年同期比13.6%増の4,192百万円の売上高となりました。また、セグメント利益につきましては、主に増収影響により、対前年同期比64.3%増の1,569百万円となりました。

・外部顧客への売上高の内訳（医薬品事業）

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
国内	2,459	2,640
海外	1,229	1,551
合計	3,688	4,192

(感染管理事業)

感染管理事業につきましては、売上規模に応じたマーケティング費用の投下等コストコントロールを強化し、収益性の改善に取り組んでまいりました。

これらの結果、売上高は対前年同期比で340百万円減少の383百万円となりました。また、セグメント損失につきましては、各種費用の抑制等により対前年同期比で411百万円改善し232百万円となりました。

・外部顧客への売上高の内訳 (感染管理事業)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
国内：一般用	331	225
国内：業務用	332	134
海外	59	23
合計	724	383

(その他事業)

その他事業につきましては、主に木酢液を配合した入浴液や園芸用木酢液等の製造販売を行い、売上高は4百万円、セグメント損失につきましては7百万円となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は13,137百万円(前連結会計年度末比82百万円減)となりました。また、負債合計は5,073百万円(同1,407百万円減)、純資産合計は8,064百万円(同1,324百万円増)となりました。前連結会計年度末からの主な変動要因は、現金及び預金の減少等による流動資産472百万円の減少や投資有価証券の評価替による増加等による固定資産390百万円の増加、未払金の減少等による流動負債593百万円の減少、長期借入金の返済等による固定負債813百万円の減少、また、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等による純資産1,324百万円の増加等であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年12月期の通期連結業績予想につきましては、2024年8月9日に公表いたしました予想値から変更はありません。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、2021年12月期から2023年12月期において継続して営業損失を計上いたしました。当第3四半期連結累計期間においては、前連結会計年度から業績状況は着実に改善し、営業利益726百万円を計上したものの、前連結会計年度末まで継続して営業損失を計上していることを鑑み、引き続き継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しているものと認識しておりますが、当第3四半期連結会計期間末において現金及び預金4,774百万円を保有しており、コミットメントライン契約による追加の資金調達余力もあることから、事業運営に必要な資金については確保していると判断しております。また、当社グループでは、当該事象又は状況の解消に向けて、以下の対応策を実施することにより収益性の向上に取り組んでまいります。

① 医薬品事業の安定した収益の獲得

堅調な需要状況に対し、前連結会計年度より整備を進めてきたシフト生産体制や京都工場の医薬品ラインの立ち上げ等の施策を本格的な実行フェーズへ進展させ、市場への安定供給を行うとともに、出荷価格の見直しによる適正利益の確保によって安定した収益の獲得を目指してまいります。

② 感染管理事業の収益性改善

感染管理事業においては、「クレベリン」の主成分である二酸化塩素の有効性や安全性に関するエビデンス強化によって信頼回復に取り組んでまいります。また、「クレベリン」の属する除菌市場は売上予測が難しい状況が続いていることから、広告宣伝費等のコストコントロールを強化することにより、収益性の改善を目指してまいります。

③ コスト削減

オフィススペースの縮小等により引き続き固定費の圧縮を図るとともに、販売費及び一般管理費の効率化及びコストコントロールを強化することにより、収益性の改善に取り組んでまいります。

以上のことから、現時点で当社グループにおいて、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,484	4,774
受取手形及び売掛金	1,985	2,006
商品及び製品	421	438
仕掛品	387	604
原材料及び貯蔵品	565	663
その他	264	148
流動資産合計	9,109	8,636
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,025	968
機械装置及び運搬具(純額)	826	511
土地	1,675	1,675
建設仮勘定	2	36
その他(純額)	50	60
有形固定資産合計	3,581	3,252
無形固定資産	1	24
投資その他の資産		
投資有価証券	236	936
その他	291	288
投資その他の資産合計	527	1,225
固定資産合計	4,111	4,501
資産合計	13,220	13,137

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	375	403
1年内返済予定の長期借入金	1,206	1,206
未払金	740	441
未払法人税等	42	37
返金負債	72	55
賞与引当金	75	74
転貸損失引当金	48	11
資産除去債務	203	-
その他	281	223
流動負債合計	3,046	2,453
固定負債		
長期借入金	1,999	1,024
長期末払金	549	549
転貸損失引当金	28	18
退職給付に係る負債	624	628
資産除去債務	20	20
その他	210	378
固定負債合計	3,433	2,619
負債合計	6,480	5,073
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,267	10
資本剰余金	2,689	4,997
利益剰余金	1,628	2,343
自己株式	△300	△273
株主資本合計	6,284	7,077
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	91	576
為替換算調整勘定	363	410
その他の包括利益累計額合計	454	987
新株予約権	0	-
純資産合計	6,739	8,064
負債純資産合計	13,220	13,137

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
売上高	4,417	4,579
売上原価	2,626	1,864
売上総利益	1,791	2,715
販売費及び一般管理費	2,235	1,988
営業利益又は営業損失(△)	△444	726
営業外収益		
受取利息	16	22
為替差益	62	-
原状回復負担金等収入	9	-
その他	4	13
営業外収益合計	93	36
営業外費用		
支払利息	6	6
賃貸費用	0	4
為替差損	-	33
操業停止関連費用	211	-
支払手数料	15	10
その他	5	3
営業外費用合計	238	57
経常利益又は経常損失(△)	△589	705
特別利益		
固定資産売却益	76	-
投資有価証券売却益	87	-
受取補償金	-	200
特別利益合計	163	200
特別損失		
固定資産除却損	2	-
減損損失	79	228
投資有価証券評価損	28	4
特別損失合計	110	232
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△537	673
法人税、住民税及び事業税	11	30
法人税等調整額	14	△72
法人税等合計	25	△41
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△562	714
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△562	714

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△562	714
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	152	485
為替換算調整勘定	92	47
その他の包括利益合計	244	532
四半期包括利益	△318	1,247
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△318	1,247

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医薬品事業	感染管理事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	3,688	724	4	4,417	—	4,417
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,688	724	4	4,417	—	4,417
セグメント利益又はセグメ ント損失(△)	955	△643	△17	293	△738	△444

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「感染管理事業」セグメントにおいて、回収可能性が認められないと判断した固定資産を減損損失として計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において79百万円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医薬品事業	感染管理事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	4,192	383	4	4,579	—	4,579
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,192	383	4	4,579	—	4,579
セグメント利益又はセグメ ント損失(△)	1,569	△232	△7	1,329	△602	726

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「医薬品事業」セグメントにおいて、生産体制の最適化を図るため、京都工場における生産設備の一部を除却することを決定しており、対象の固定資産を減損損失として計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において228百万円であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間において、2024年3月28日開催の第78回定時株主総会決議により、会社法第447条第1項の規定に基づき、効力発生日を2024年5月31日として、資本金2,287百万円を減少し、その他資本剰余金へ振り替えております。

また、行使価額修正条項付新株予約権付社債券等に係る新株予約権の行使に伴い、資本金及び資本準備金30百万円がそれぞれ増加しております。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末において、資本金が10百万円及び資本剰余金が4,997百万円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
減価償却費	527百万円	190百万円